

大学番号 私立178

注1

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

認可

豊田工業大学 工学部 先端工学基礎学科

注2

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人トヨタ学園

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総括・企画グループ

職名・氏名 GM ミツイマサト 三井正人

電話番号 052-809-1717

（夜間） 052-802-1111

e-mail sokatsu3@toyota-ti.ac.jp

（注） 1 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

2 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きに旧名称を記載してください。

例） ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①工学部先端工学基礎学科	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	6

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人トヨタ学園

(2) 大 学 名

豊田工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒468－8511

愛知県名古屋市中天白区久方2丁目12番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(マスダ ヨシヒコ) 増田 義彦 (平成29年6月)		
学 長	(ホタテ カズオ) 保立 和夫 (令和元年9月)		
学 部 長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画								定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考	
	修業年限		入学定員		編入学定員		収容定員					
			変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
工学部 先端工学基礎学科 学士（工学）	4 年		90 人	100 人	— 年次 人	6 年次 人	360 人	412 人	令和 3 年度	新規入学者を 募集中		
区 分	対象年度		平成 3 0 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 人 (—) [—]		90 人 (—) [—]		90 人 (—) [—]		100 人 (6) [—]		1.03 倍		— 倍	
志願者数	757 (16) [—]		733 (16) [—]		646 (14) [—]		963 (12) [—]					
受験者数	755 (13) [—]		733 (15) [—]		645 (13) [—]		962 (11) [—]					
合格者数	422 (13) [—]		403 (15) [—]		400 (13) [—]		528 (11) [—]					
B 入学者数	90 (7) [—]		94 (7) [—]		103 (7) [—]		97 (7) [—]					
入学定員超過率 B／A	1.00		1.04		1.14		0.97					

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
 - ・ 様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科の場合ですが、変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると
ともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行って
いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「—」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入して
ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入して
ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して
ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、
報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

2 既設大学等の状況

大学 の 名 称	豊 田 工 業 大 学				学生募集停止学科数				0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	入学定員変更（10） 編入学定員新設（6）
					H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
工学部	年	人	年次人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度	
先端工学基礎学科	4	100	3年次6	412	1.00	1.04	1.14	0.97	1.03	令和3	昭和56	
	4	100	3年次6	412	1.00	1.04	1.14	0.97	1.03	令和3	平成13	
大学全体	4	100	3年次6	412	1.00	1.04	1.14	0.97	1.03	-	-	
大学 の 名 称	豊 田 工 業 大 学 大 学 院				学生募集停止学科数				0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	
					H30年度	R元年度	R2年度	R3年度				
工学研究科	年	人	年次人	人					倍			
先端工学専攻（修士課程）	2	45	-	90	-	-	1.11	1.11	1.11	-	平成14	
情報援用工学専攻（博士後期課程）	3	6	-	18	-	0.50	0.00	0.33	0.27	-	平成7	
極限材料専攻（博士後期課程）	3	6	-	18	-	0.50	0.50	0.66	0.55	-	平成7	
大学院全体	-		-		-	0.50	0.53	0.70	0.64	-	-	

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認可時 (令和2年度)	・入試区分ごとの募集人員について、一部の入試区分において、志願者数や入学者数の実績に合致していないものが見受けられるため、実績を踏まえて適切に募集人員を設定すること。	遵守事項	・令和3年度入試における入試区分ごとの募集人員に対する入学者数の実績は（入学者数の実績/募集定員）、一般選抜74名/70名、社会人特別選抜10名/20名、推薦選抜（公募型）13名/10名という結果となり、社会人特別選抜および推薦選抜（公募型）において3割以上の過不足が生じる結果となった。社会人特別選抜においては、企業への働きかけ等を積極的に行ったが、厳格な選抜の結果として募集人員に達しなかった。推薦選抜（公募型）においては、令和3年度入試が初の実施であるが、こちらも厳格な選抜の上、優秀な学生を確保した結果である。なお、募集人員に達しなかった場合には、その分を一般選抜に振り向けることとしており、学部入学者数全体としては定員超過率0.97で適切な状況となっている。	履行中	・社会人学生の入学者確保に向けて引き続き努力すると共に、適切な募集人員の設定に向け、社会人特別選抜および推薦選抜（公募型）の募集人員をそれぞれ見直す。 ＜令和4年度入試_入試区分毎の募集人員計画＞ ◆社会人特別選抜 20名→18名（2名減） ◆推薦選抜（公募型） 10名→12名（2名増） ◆一般選抜 70名（変更なし）

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。